

「黒いもの」も、「白いもの」も！ 舗装や土木工事などを通じて 都市をクリエイトする会社です



有限会社エスティ舗装

代表取締役

赤堀 大介さん

Daisuke Akahori

有限会社エスティ舗装

浜松市中央区恒武町235

053-434-6104



舗装と土木の両方を自社一貫体制で！ コスト削減と工期の短縮を実現

有限会社エスティ舗装は、道路の「舗装工事」を主軸としつつ、道路と歩道の堺にある縁石や側溝、マンション・アパート・一般住宅の外構工事、建物の基礎などの「土木工事」の両方を自社一貫体制で行える会社です。外注費を抑え、見積もりから施工、アフターフォローまでスムーズに行えるのが強みです。現在、県西部地区を中心に、神奈川、埼玉、東京、千葉等の関東エリアまで、活躍のエリアを広げています。

「10年前前までは舗装一本でしたが、コンクリートの仕事は付き物でしたので、自社で土木工事でも請け負える体制を整えました。舗装も土木も両方できる会社は意外と少ないのが現状です。お客様にとっては、両方を自社で一貫してできるというのは、コストを抑えられるだけでなく、工期も短

縮できる等、メリットが大きいんです」と語るのは赤堀社長。

エスティ舗装の創業は1993年。33年間の豊富な実績でお客様からの信頼を築いてきました。現在、社員数は22名。仕事の量や発注数が多いので、やる気のある人は大歓迎と話してくださいました。

「私は18歳で入社して20歳の時に独立したいと言ったところ辞められず、30歳の時に役員に入れていただき、5年前に代表取締役になりました。起業が夢ではありましたが、私にとって、社長というのは、ある意味ニックネームのようなものだと思います(笑)。社員に対しては、もちろん責任を持って仕事をするよう指導していますが、仕事を楽しんでいることが何よりも大切だと感じています。常務の息子も入社し経験を積んでくれているので、彼に経営についても学んでもらい、パトタッチできるようにするのも、私の役目だと思います」と語ってくださいました。

AIやロボットの進歩によって、置き換えられる業種が増えている中、現場ごとに柔軟に対応するため、臨機応変な判断と複雑な力仕事求められる舗装工事や土木工事は、人の力なくてはできない分野です。AIがどんなに進化しても、赤堀社長を頂点として、一緒に働く作業員同士のチームワークの良さが、エスティ舗装の強さと魅力になっていくのだと感じました。



金のストリートピアノでイベントを開催！ 地域に愛される内装工事店として 独自の地位を築いています



代表取締役

嶋 俊輔さん

Syunsuke Shima

株式会社シーマー

浜松市中央区植松町265-15

053-468-1535



一級建築士をはじめとしたプロ集団 自社内直接施工で顧客満足を追求！

株式会社シーマーの前身は、昭和52年に父、嶋秀雄氏が設立した有限会社室内装飾シマ。来年は50周年の節目の年となります。内装仕上げのエキスパートとして技術を構築し、現在では、設計・施工、リフォーム・リノベーション等と、事業を拡大しています。

一級建築士をはじめ、インテリアプランナー、インテリアコーディネーター、一級建築施工管理技術士、一級技能士（床カーペット、床プラスチック、壁装）等、設計・デザイン・施工の各分野における有資格者が在籍し、多角的な視点から高品質な空間づくりを行うプロ集団として信頼を獲得しています。

「自社内での直接施工のため、無駄な費用と手間を抑えられますし、スムーズな進行管理により、工期も短縮できます。窓口はシーマーですから、責任の所在も明確化されますし、お客様は業者間の調整に煩わされることなく、一貫したサポートと高品質な仕上がりを受けられます。意図した訳ではありませんが、弊社はオフィスや店舗、保育園の施設など、民間よりも法人や行政のクライアントが多いのが特徴です。また、建築費の高騰や良質な中古物件の増加により、近年は新築よりもリフォームやリノベーションの需要が増加しています」と語るのは代表取締役の嶋俊輔氏。



11月21日「浜松東ロータリークラブ音楽祭 in ソラモ」にも登場予定！

「金のピアノ」は、約50年前に河合楽器製作所様に特別な依頼のもと、金色に製造されたものですが、当時のことを詳しく知っている方はもういないようです。遊歩の丘みなみプレススクール様のリノベーション工事をさせていただいた際、嶋社長が一目惚れし、理事長様のご厚意で「是非大事に使ってほしい」と特別に寄贈していただいたとのこと。眠っていた古いピアノがストリートピアノとして生まれ変わり、イベントを通して社会に貢献しています。

シーマーの理念は、「お客様・得意先様・社員・家族の絆を宝と考え、永続的な成長に挑戦し、夢のある社会を共に創ります」。この理念を实践すべく、嶋俊輔氏は本業の枠を超えて地域社会の活性化にも尽力されています。自社で所有されている金色に装飾されたピアノを活用し、「金のストリートピアノ」を開催。音楽のまちづくりに貢献したいという想いから始まったイベントは、日本経済新聞にも取り上げられ、回を重ねるごとに音楽を愛する心の交流が広がっています。

